

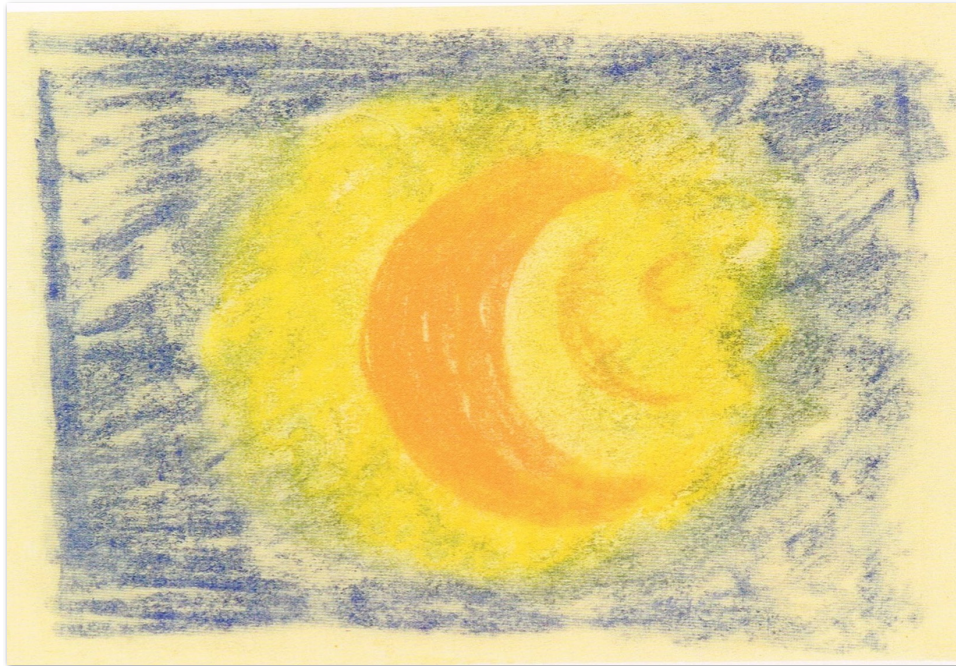
ヨハネス・キュール氏 公開講演会

自然科学とシュタイナー思想

～教育と文化への科学技術の影響～

2019年6月15日（土） 東海大学代々木キャンパス2B-11教室

（2号館B翼）



Rudolf Steiner: <Scheinender Mond>

午前の部 10:00 - 12:00 「文化と教育のデジタル化」

～スマートフォンやタブレットは子どもたちに何をもたらすのか～

午後の部 14:00 - 16:00 「原子力と人間の運命」

～個人、民族、人類の課題～

参加費 一般: 午前&午後 5000円（1講演のみ3000円）

協会員（会員証提示）：午前&午後 4000円（1講演のみ2500円）

※同会場にて17:00 - 18:30に「協会員の集い」を予定しています。

参加のお申し込みはウェブサイトから：URL: www.kolisko-group.com

共催: 一般社団法人普遍アントロポゾフィー協会一邦域協会日本／一般社団法人ルドルフシュタイナーハウス
／四国アントロポゾフィー・クライス／東京ミハエル支部／藤野ソフィアグループ／コリスコ・グループ

スイス・ゲーテアヌム自然科学部門代表であるヨハネス・キュール氏の来日を機に、現代の科学技術が私たちの生活に及ぼす影響を「文化・教育のデジタル化」と「原爆・原子力・放射能」という2つの事象から考えたいと思います。シュタイナー思想（アントロポゾフィー／人智学）の視座から、どのような課題や可能性が見えてくるのでしょうか？

さまざまな立場の方が、キュール氏のお話をきっかけに、日本に生きる私たちのこれからを考える時間を共有する場になればと願っています。

講師プロフィール: 1953年、ドイツ・ハンブルクに生まれる。ヴァルドルフ学校に通い、農業における民間奉仕義務を行った後、ハンブルクとゲッティンゲンにて物理学、数学、化学を学ぶ。マックス・プランク流体研究所のエルンスト＝アウグスト・ミュラーのもとディプロム取得研究。続いてスイス・ドルナッハのゲーテアヌム自然科学部門研究員。1982～1996年、シュトゥットガルト・ウーランツヘーエ・ヴァルドルフ学校高等部教師。1982年よりゲーテアヌム自然科学部門コレギウムに参加。1996年、同部門代表に就任。研究テーマ: 流体物理学、人間の運動機構の力学、ゲーテ主義的光学と色彩論、物理学教授法。



ヨハネス・キュール氏

お問い合わせ：コリスコ・グループ
Tel/Fax. 03-6424-5125
E-mail. info@kolisko-group.com



アクセスマップ

Access Map



代々木キャンパス	徒歩 10 分	小田急線	代々木八幡駅
	徒歩 10 分	小田急線	代々木上原駅
	徒歩 10 分	東京メトロ千代田線	代々木公園駅
	徒歩 10 分	京王井の頭線	駒場東大前駅

東海大学代々木キャンパスへの交通アクセス詳細

小田急線「代々木八幡」駅（南口出口）または「代々木上原」駅（南口1出口）下車徒歩 10 分 /

京王井の頭線「駒場東大前」駅（西口出口）下車徒歩 10 分 / 東京メトロ千代田線「代々木公園」駅（代々木八幡方面出口1）下車徒歩 10 分